

令和4年度学力向上推進実践報告

竹富町立大原中学校
学校教育部会

I 目標

生きる力を育むことを目指し、授業改善を通して確かな学力を身につけさせ、未来を切り拓く資質・能力の育成を図る

II 基本方針

- 1 『学力向上推進5か年プラン・プロジェクトⅡ』、『「問い」が生まれる授業サポートガイド』、『令和4年度版ばいぬ島っ子プラン』等を踏まえて推進する。
- 2 学校デザインシート、フォーカスシートを作成・活用する。
- 3 授業力の向上を図るために、全職員1回ずつ研究授業を行う。

III 実践

- 1 3つの視点(自己肯定感を高める、学び・育ちの実感、組織的な関わり)からみた自校の課題
【視点1】自分の考えを相手に伝える力を育むための対話的な活動の工夫
【視点2】課題解決に向けて主体的に取り組むための「問い」をもたせる授業づくり
【視点3】校内研における各種調査やアンケートを活かしたPDCAサイクルの実施

2 取り組み内容

(1) 質的授業改善(方策1 日常化する)

①自己肯定感を高める取り組み

- ア 一人一人のよい点や成長した点を認め、褒める取組を日常的に意識して行う。
- イ 交流場面や自己の振り返りの場の設定から主体的に学ぶ態度の育成を図る。

②単元計画を活用した授業改善

- 1 単元を見通して身につけたい力を意識しながら単元計画を作成し、「めあて⇄まとめ」の整合性と視点を持たせた振り返りの完結型授業を行う。

(2) 組織的共通実践(方策2 そろえる)

①「教え合い・学び合い」の活動の設定

- 単元や題材の中に「教え合い・学び合い」の活動を設定する。

②振り返りの視点(習得・活用探求)の設定

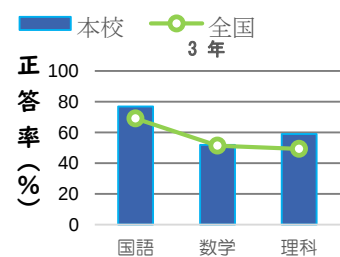
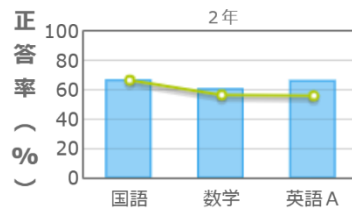
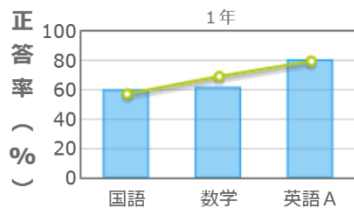
- 授業の振り返りに視点(習得と活用・探求)をもたせ、既習漢字を使って書かせる。

③各種調査結果における課題分析と改善

- ア 標準学力調査・全国学力学習状況調査の結果(平均正答率)



■ 校内 ■ 全国



イ 分析

正答率は、1年数学を除いては3教科共に全国平均を上回ったが、目標値を下回っている問題の共通点として、次の3点があげられる。

- 自分の考えを明確に書く ●理由を説明する ●要点(式)を読み取る

ウ 取り組み

- ・朝学習や補習等の時間を利用して、前の学年の復習を行う。
- ・単元計画の中で「教え合い・学び合い」の活動を設定し、活動の過程で自分の考えを説明したり、まとめたり、既習事項を活用して表現することを意識させる。
- ・異年齢交流の場（一斉道徳・学活・生徒会活動など）を計画的に設定する。

(3) 発達の支援（方策3 支える）

①学級活動と生徒会活動を連動させた自治活動の充実

- ア 委員会サミット・・・毎月の活動の振り返り・来月の確認
- イ 中央委員会・・・行事における活動の確認・呼びかけ、
『TEAM 新聞』の発行



②デイリーライフを活用した教育相談の充実

キャリアパスポートの一環として生活ノート（『デイリーライフ』）を購入し、見通す力の育成と成長の自覚を促すことを目的に活用している。



③教育相談・教科面談による個に寄り添った発達支援と学習支援

年に3回程度、教育相談・教科面談を設け、生徒一人一人の学習や生活面の改善点を助言している。担任・副担任・全教科担任で支援を行っている。

④承認活動の実施

自己肯定感、自己有用感を高めるために、承認活動として生徒同士にプラスの言葉かけ、教員から生徒への前向きな言葉かけを実施。

⑤その他の取り組み

ア 朝学習の実施

火曜日の朝時間（15分間）にGIGA 端末などを活用して、自学学習に取り組んでいる。さらに月1回は学年の教科係が作成した問題に取り組んでいる。

イ 補習指導の実施

木曜日の放課後（25分間）に実施。『数学強化期間』として、スモールステップ法式の学習指導で全生徒対象、全職員体制で実施。

ウ 体力の向上と部活動の充実

体力、技能の向上を図るため、全生徒が部活動に所属し、仲間と協力し合い活動している。また、陸上や駅伝の練習を全校生徒で取組んでいる。

休養日(ノー部活デー)の設定→毎週木曜日・土日の1日

【野球部・男女バスケットボール部・男女硬式テニス部】

エ 食育活動

- ・栽培活動の実施：栽培活動を通して、食べ物の大切さを育む。
- ・栄養教諭による食育講話の実施：食育日課を設定し実施。
- ・お弁当の日実施：島立ち後の生活に向け自分で献立を考え作る機会を設定。

(4) 学校組織マネジメント(方策4 見通す)

① 校内研究体制の充実

ア 研究主題と研究体制の確立

研究主題： 主体的・対話的で深い学びを実現する指導の工夫
～「教え合い・学び合い」と海洋教育の活動の連携を通して～

【研究授業】

*：主事招聘を伴う研究授業

月日	教科	授業者	月日	教科	授業者
6月22日	*道徳(3年)	河野 崇	10月19日	*音楽(3年)	波照間 碧
7月7日	道徳(1年)	浜崎 俊介	11月16日	体育(1年)	普久原 卓林
9月28日	英語(2年)	伊良波 千春		国語(2年)	玉城 久
	数学(3年)	稲福 愛良			

イ 研究授業(指導案検討会) 授業研究会における参観の視点の統一

研究授業及び授業研究会においては、子どもの学びの姿に視点を置き、教科横断的な観点から本校の授業改善に向けた取組みについて協議を行う。

ウ 授業改善に向けた互見授業や理論研修の充実

互見授業：互いの授業を参観し合い授業力の向上と授業づくり・授業改善の参考とする。

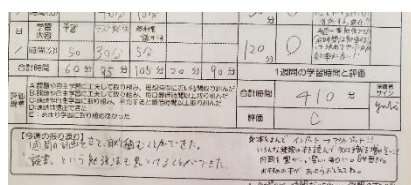
② 学校評価やフォーカスシートを活用したPDCAサイクルを意識した授業改善

ア 実態把握

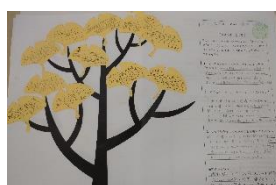
- ・自己肯定感・自己有用感は昨年より数値が高くなっているが依然として高める必要がある。
- ・自ら計画を立てて家庭学習に取り組む態度が低い。

イ 改善・取り組み

- ・1分間スピーチ(自己肯定感を高める・自己表現力の向上)
- ・承認旬間(自己肯定感を高める・信頼関係の構築)
- ・家庭学習の習慣化(見通しをもって学習に取り組む態度の育成)



家庭学習振り返りシート



『承認の木』～承認旬間～



1分間スピーチ(2年)

(5) 学校連携・地域連携（方策5 つなぐ）

ボランティア活動や地域行事を通じた体験活動の充実

- ① 古見岳登山・・・三大行事の1つ。教科横断的な学習で生きる力を育む
- ② キビ植えキビ刈り・・・保護者や地域の協力の下実施。売上は生徒の派遣費や検定の補助費として活用
- ③ ボランティア清掃・・・生徒会を中心に地域清掃を実施。（今年度は、海洋教育と連動し事前学習から生徒主体で取組んでいる）
- ④ 家庭・地域へ発信・・・学校便りの発行。生徒会執行部を中心に学校行事や生徒の活躍を正門横の掲示板を活用して毎日発信。



三大行事～古見岳登山～



キビ植え



ボランティア清掃

IV 成果と課題

(1) 視点1【自己肯定感を高める】

○校長をはじめ先生方が学校だよりや生徒会新聞、掲示物等を通して様々な場面で承認活動を行っている様子が見られた。

- 「自己肯定感を高める取り組み」を行ってきており昨年度よりは数値が上がっているものの、十分とは言えないため承認活動をはじめとする一人一人の良い点を認め・褒める取組を継続して行っていく必要がある。

(2) 視点2【学び・育ちの実感】

○話し合い活動や問いをもたせる授業づくりを通して、自分の考えを深め広げたり、説明したりすることのできる生徒が増えてきた。今年度はさらに海洋教育と連携することで、自分の考えを深め広げる場の設定ができた。

- 家庭学習の取り組みは自身の学力向上のために必要だと自覚している一方で、自ら計画を立てて家庭学習に取り組むことに課題がある。

(3) 視点3【組織的な関わり】

○学校評価やフォーカスシートを活用しPDCAサイクルを意識した授業改善を行うことができた。

- 研究授業を行い授業改善を行ってきたが、振り返りの時間を含めたタイムマネジメントの工夫が必要である。

V 写真資料

1. 質的授業改善(方策1 日常化する)

自己肯定感を高める取組



「めあて」に正対した「まとめ・振り返り」



2. 組織的共通実践（方策2 そろえる）

『教え合い・学び合い』の活動



考える時間の確保



振り返りの視点

振り返りの視点 学級用	
① 自己の学習について (学びの姿を振り返る)	・へができるようになった ・へがわかった
② 交流について (交流を振り返る)	・へな考え方もあった ・へな考え方がおもしろかった ・Aさんはなぜこう考えたのだろう ・Bさんの考えに疑問を持ったが、話し合いを通して、 でも、自分ばへなので・・・ ・Cさんの意見を聞いて、へという考えに変わった
③ 学習行動について (学びの過程や結果を振り返る)	・積極的に発表することができた ・分からない所を聞くことができた
④ 探究・改善について (活用問題に取り組む/次につなげる)	・もっとへについて知りたい ・次はへができるようになりたい ・への場合はどうなるのだろう ・へでもできるかな

『異年齢交流』の場の設定



食育活動



お弁当の日

3. 発達の支援（方策3 支える）

学級活動と生徒会活動を連動させた自治活動



専門委員会新聞 TEAM



専門委員会による朝会

朝学習の取組



体力向上と部活動



男女硬式テニス部



女子バスケットボール部



男子バスケットボール部



野球部



陸上練習



駅伝(女子)



駅伝(男子)

4. 学校組織マネジメント（方策4 見通す）

校内研修の充実

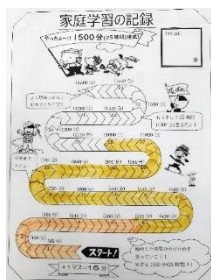


授業研究会①



1分間スピーチ(3年)

家庭学習の習慣化



家庭学習の記録



家庭学習振り返りシート

5. 学校連携・地域連携（方策5 つなぐ）



ボランティア清掃



キビ植え



三大行事～古見岳登山～

家庭・地域へ発信



正門横掲示板



生徒会新聞



学校ホームページ